<H29湯沢>総合的な学習支援(09)

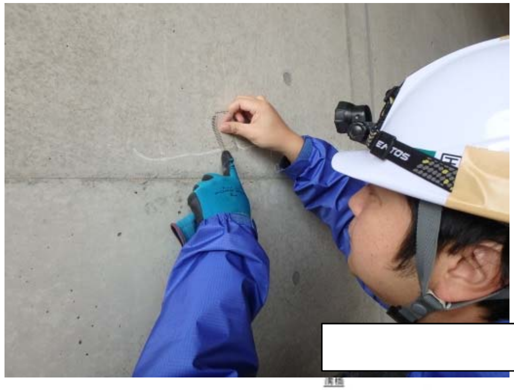
■道路構造物"2出張所で、2つの道路Boxを点検"
（秋田県道路メンテナンス会議の一環で開催：点検等の技術力の習得）

「2出張所・2橋梁で直営点検を実施」

対　　象：出張所担当者、若手技術者、コンサルタント共同
参加人数：計５名（湯沢河川国道事務所、湯沢国道維持出張所、大曲国道維持出張所）
時　　期：１０月１９日、１０月２０日
目　　的：橋梁点検補修に関わる技術者の技術力向上、コスト縮減を図るため
★橋梁点検は点検技術習得のため、今年度点検予定の溝橋において、橋梁点検業者と同橋を点検専門業者との記載内容の確認を実施、

●湯沢国道維持⇒10/19（須川8ボックス）●大曲国道維持⇒10/20（北楢岡沖田ボックス）

▲点検前の安全確認・点検方法の確認



▲側壁、頂版、ウイング等点検状況

1　溝橋・大型カルバートの点検方法

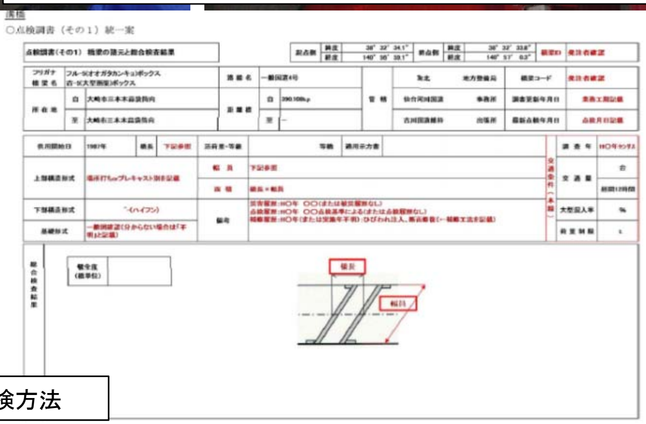
1）点検部位

溝橋・大型カルバートの点検は、橋梁定期点検要領、シェッド、大型カルバート等定期点検要領に従って実施する。

点検方法は、近接目視を基本とし、点検項目に応じて触診，打音検査を行う。

点検する部位は、以下の①～⑦に区分して行う。

① 本体側壁
② 本体頂版
③ 本体底版（舗装）
④ 本線舗装
⑤ ウィング
⑥ ウィング土留（接続部）
⑦ 付帯施設（側溝、照明灯、管路、標識）



▲溝橋、大型カルバートの点検方法

▲点検後の点検調書確認